

令和6年度長野県病虫害防除研修会を開催しました

令和7年2月25日（火）、塩尻市の県総合教育センターにおいて、果樹の病虫害をテーマにした研修会が開催され、総勢125名が参加しました。

基調講演では、昨年全国的に問題となった果樹カメムシ類の生態や防除対策について、明治大学の糸山先生が講演を行いました。続いて、県果樹試験場の簗島研究員や南信農業試験場の萬田研究員が、果樹病虫害に関する最新の情報を提供しました。

参加者からは時間が足りなくなるほど多くの質問が寄せられ、関心の高さが伺えました。今回の研修会を通じて、県内における果樹病虫害の防除対策の徹底が期待されます。



写真1 弊所、山口所長の開会あいさつ



写真2 熱心に聞き入る参加者

○ カメムシの発生生態と防除-生態を知って対策を考える-

明治大学 農学部 教授 糸山 享 先生

【講演の内容】

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）の生態的な特徴や発生が増えている要因や今後の温暖化が及ぼす影響など多岐にわたってご紹介いただきました。

○ 長野県において今後発生が心配される果樹の病虫害について

県病虫害防除所（中南信担当） 齋藤 龍司 氏

【講演の内容】

直近5年間の隣接県の病虫害発生予察情報（特殊報など）で、今後、本県における発生が予想される果樹病虫害について、見極める際のポイントを中心に紹介しました。

○ 温暖化が果樹害虫の発生に及ぼす影響について

県果樹試験場環境部 研究員 簗島 萌子 氏

【内容】

温暖化が果樹害虫（モモシンクイガ、キンモンホソガ、ナシマルカイガラムシ）の発生に及ぼす影響について、最新の試験研究データを基に紹介いただきました。

○ 日本なしにおけるナシ黒星病の特徴と防除対策について

県南信農業試験場栽培部 研究員 萬田 等 氏

【内容】

近年、全国的にも発生が増加している「ナシ黒星病」について、昨年度の状況や新たに提案している薬剤防除の体系や耕種的防除の落葉処理技術について紹介いただきました。

○ 長野県において侵入および発生動向に注意が必要な病害虫について

県病害虫防除所 藤沢 喜一 氏

【内容】

現在、長野県のみならず日本国内への侵入を警戒している病害虫について紹介しました。



写真 3 明治大学の糸山先生によるご講演の様子



写真 4 簗島氏により果樹害虫の研究結果を紹介いただいている様子



写真 5 萬田氏により日本なしの黒星病の特徴と防除対策を紹介いただいている様子